

平成 19 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 地球温暖化及びヒートアイランド対策のための技術支援に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<p>○ 地球温暖化は人類全体の課題であり、ヒートアイランド対策は大都市部における緊急性の高い課題である。本研究課題はこれらに対して、地方レベルでの取り組みの基礎データを得ようとするもので、社会的ニーズの高いテーマといえる。具体的な成果は次年度以降であるが、有効な情報が得られることが期待される。</p> <p>この課題については、市町村のサポートという性格が強いと理解できるが、地域特性に留意することが必要である一方で政策的な統一性も重要であることから、県内の政令市との連携をより密にして、統一のとれた施策につながるような研究成果が得られるように努力されることを望みたい。</p> <p>○ テーマ1は、今日、地球規模で関心の高まっている地球温暖化をテーマとし、温室効果ガスの排出削減について検討するという点で時宜を得たテーマだと思います。</p> <p>ただ、課題①では主に家庭からの排出、課題②では建設資材からの排出を対象としています。なぜ家庭と建設資材を検討対象とするのかがやや不明確です。課題①で全体の排出量の把握もなされるようですので、これらが現在どのくらい温室ガス排出に寄与しているのか、他に寄与が大きく対策が必要な対象はないのかについても検討していただければと思います。</p> <p>テーマ2については、遮熱性舗装と壁面緑化について効果を検証するという点ですが、十分な成果が得られれば、今後、施策の推進をバックアップする有用なデータ・知見として活用が期待されます。</p> <p>○ 温暖化対策のためには、エネルギー使用と交通システムにおけるモーダルシフトをいかに実現するかという問題意識を持つべきである。エネルギーについては、新エネルギーの普及をいかにして促進するかというテーマ設定が大切である。</p>	<p>○ 地球温暖化対策及びヒートアイランド対策のための技術支援に関する研究は、県や市町村の行政施策の推進をサポートするため取り組んでおります。したがって、有効な施策推進につながる研究成果については、広く情報提供してまいります。</p> <p>○ テーマ1の課題①の家庭からの排出については、排出量が増加しており、地球温暖化を防止するためには、家庭における排出抑制の取り組みが不可欠であることから取り上げたものです。また、課題②の建設資材からの排出については、関係部局で進めている施策（県工事におけるリサイクル資材の率先利用）推進の根拠となる効果を把握するため実施するものです。県内の温暖化ガス（二酸化炭素）排出量は、産業部門が最も多く、次いで民生部門（家庭、ビル等）、運輸部門の順となっており、その対策については、現在制定作業中の「神奈川県地球温暖化対策推進条例」の中で検討しております。</p> <p>テーマ2については、遮熱性舗装や壁面緑化は、比較的取り組みやすいヒートアイランド対策であり、対策推進の根拠となる効果を把握するため実施するものです。</p> <p>○ ご指摘の点につきましては、現在県が制定を進めている「神奈川県地球温暖化対策推進条例」に盛り込まれる施策の内容を踏まえ、当センターの役割、対応について検討してまいります。</p>

平成 19 年度環境科学センター研究推進委員会指摘事項への対応

課題名 地球温暖化及びヒートアイランド対策のための技術支援に関する研究

主な指摘事項	環境科学センターの対応
<p>○ 地球温暖化対策は行政への基礎データ提供として意義がある。ヒートアイランド対策、夏場の測定は気象条件により効果が大きく異なるので、晴天時のデータが取れるよう、予備日を設ける等の工夫をしてほしい。</p> <p>○ 両テーマとも実際的な問題で、成果が期待される。 テーマ1：温暖化については、今後調査への要求が増えてくることが予測される。それに備える意味でも、家庭からの排出量等の推計方法の検討をしっかりとっておくことが重要と考えられる。主として電力とガスの消費量から算定しているとのことであるが、石油についてはどうだろうか。 テーマ2：遮熱性舗装については、構造（あるいは原理など）について、ごく簡単にでも記述した方が、報告書としてはわかりやすくなると思われる。</p> <p>○ 温度の測定は、目盛の指示がとにかくは、得られて簡便な実験と考えられがちであろうが、果たしてそうであろうか。求められているものは、地域あるいは実験箇所における代表値である。そうした観点からは十分な配慮が不可欠と思われる。 測定方法及びそれに伴う評価項目及び用語についての厳密な定義、前提条件を精査することが不可欠であろう。</p>	<p>○ ヒートアイランド対策の効果測定については、気象条件を考慮し、安定した条件下で測定ができるよう測定調査地点等の選定を行います。</p> <p>○ テーマ1の家庭からの排出量の推計は、電力は電力会社の電力使用量、都市ガスは県の統計資料をもとにして算定しています。また、石油については、灯油、LPG については国や県の統計資料をもとにして、家庭からの排出量を推計しています。 テーマ2につきましては、対策を実施する道路管理者等の関係機関が活用しやすいように、わかりやすい報告書の作成に努めます。</p> <p>○ 気象条件を含む周辺の環境条件を事前調査し、代表値としての信頼性の高いデータが得られるよう調査地点等を選定します。また、評価項目の選定及びその定義についてはご指摘に従い精査します。</p>